

＜ 国 語 ＞ 科 学 習 シ ラ バ ス

科 目	古典B	学年・類型	2年生Ⅱ型	単位数	3単位	教科書	高等学校 古典B(明治書院)	
学習の到達目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。							
評価の観点	A 関心・意欲・態度	B 話す・聞く能力	C 書く能力	D 読む能力	E 知識・理解			
評価の内容	古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。			古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。			
評価の方法	・学習活動への参加姿勢や態度 ・予習や復習、課題への取り組み状況 ・ノート、プリント類 <small>長期休業中課題</small>			・学習活動における発言内容や音読や態度 ・ノート、プリント類 ・定期考査	・学習活動における発言内容 ・ノート、プリント類 ・単元別テスト、漢字小テスト ・定期考査			
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容	評 価 の 観 点 等				
				A	B	C	D	E
1 学 期	4	1 説話 安養の尼の小袖 児の飴食ひたること 大江山	・比較的短く、展開の分かりやすい説話を読み、古文に親しむ。 ・場面状況と登場人物の行動や心情を把握し、話の展開を理解する。 ・和歌を含む説話を読み、和歌や和歌説話の特質を考える。 ・古語辞典を用いて重要古語の意味用法を調べ、理解する。 ・助動詞の意味を確認する。	○			○	◎
	5	1 故事・逸話 矛盾・推敲・ 画竜点睛・ 螢雪之功・杞憂	・本文を訓点に従って音読し、書き下し文に改める。 ・重要な句形について理解する。 ・本文に表れた古代中国人のものの見方、感じ方、考え方を読み味わう。	○			◎	○
	6	2 史話・史伝 十八史略	・比較的平易な中国の史話を読み、歴史書の面白さを味わい、漢文に親しむ。 ・本文を訓点に従って音読し、書き下し文に改める。					
		2 物語 竹取物語	・文脈に沿って作品を読み味わい、古文を読む楽しさ、古典世界の広がり理解する。 ・場面状況と登場人物の行動や心情を把握し、話の展開を理解する。 ・敬語表現を理解し、人間関係をとらえる。	○			◎	○
2 学 期	8・9	3 随筆(1) 徒然草 方丈記	・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・音読を通して文章のリズム感を味わい、対句や比喻表現などの表現上の技巧を理解する。 ・作者の人生観、社会観を形成した社会的状況を具体的な描写からとらえる。 ・無常観について理解する。	◎				○
	10	4 歌物語 伊勢物語	・歌物語の特徴を理解する。 ・場面状況と登場人物の行動や心情を把握し、話の展開を理解する。 ・作中の和歌を修辞技巧に留意して、話の展開に沿って解釈する。 ・歌物語の世界を味わい、日本の伝統的な美意識を理解する。 ・接続助詞について理解する。	○			◎	○
	11	5 随筆(2) 枕草子	・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・随筆の文章に触れて、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 ・作者の自然観賞の美意識、鋭敏性を読み取る。 ・宮廷サロンの雰囲気や想像し、作者と宮中・同僚女房との関わりや、その中で作者の心情を考える。 ・形容詞の語義を確認する。 ・日本人の育んできた伝統的季節感について理解する。	○			◎	○
	12	6 軍記物語 平家物語	・平家物語の概要を理解する。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・音読により、軍記物語に特徴的な音便表現やリズム感を味わう。	○			○	◎
3 学 期	1	3 詩 竹林館・涼州詞 黄鶴楼・春夜	・音読や暗唱を通して、簡潔で凝縮された表現の美しさを味わう。 ・作者の思索、心情、美意識を理解し、自身の感性、言語感覚、思索性を育む。 ・漢詩が日本人の心情や文学的発想に大きな影響を与えてきたことを理解する。 ・本文を訓点に従って音読し、書き下し文に改める。 ・重要な句形について理解する。	○			◎	○
	2	7 俳諧・俳論	・季語を意識して音読しながら、季節の情感をどのように表現しているかを理解する。 ・俳諧の修辞技巧や表現の面白さを理解する。 ・作品作批の深浅によって、作品が表情を変える面白さを読み解く。	◎			○	○
	3	4 文 五柳先生伝 雑説	・作品の時代背景を押さえ、作者の思想や人生観を理解し、ものの見方、感じ方、考え方を深める。					
学習のポイント	教科書の本文の音読をする。内容が理解できるまで繰り返し読む。 ノートやプリントは確実に仕上げる。自宅で予習と復習をし、分からない箇所を質問する。 関心・意欲・態度・話す力・聞く能力・書く能力・読む能力・知識・理解を身に付けるための努力をする。							